

経営比較分析表（令和3年度決算）

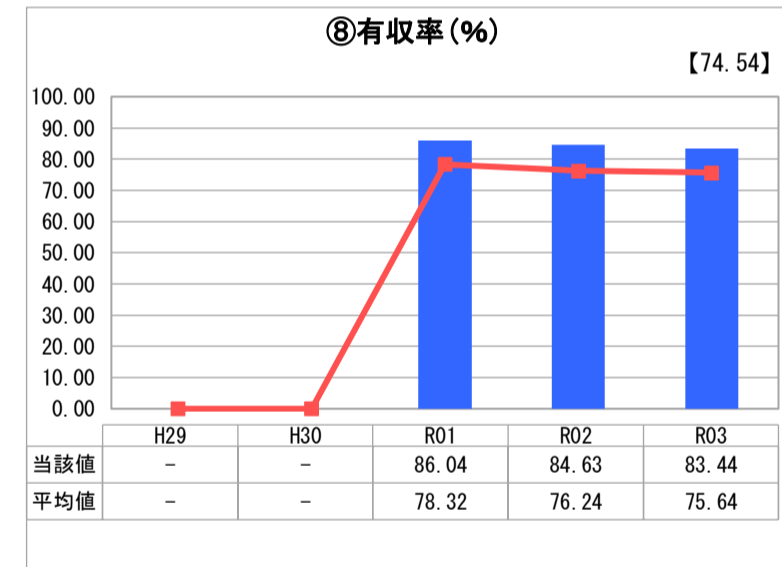
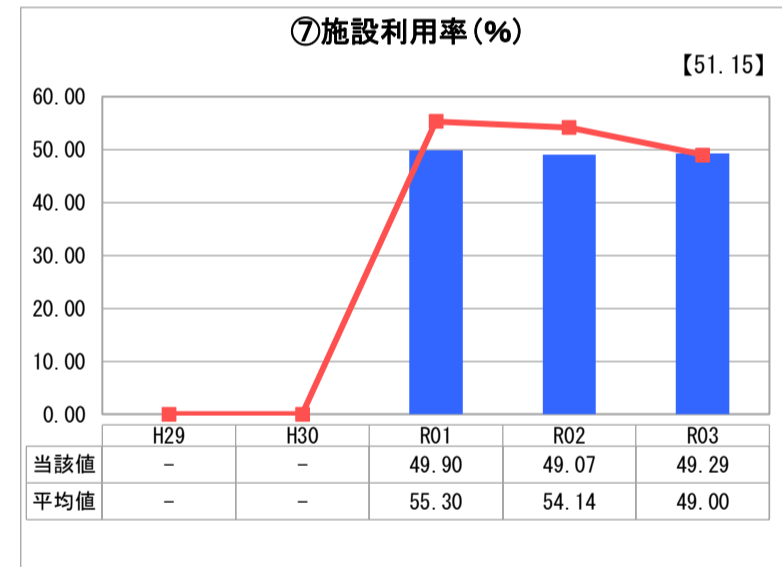
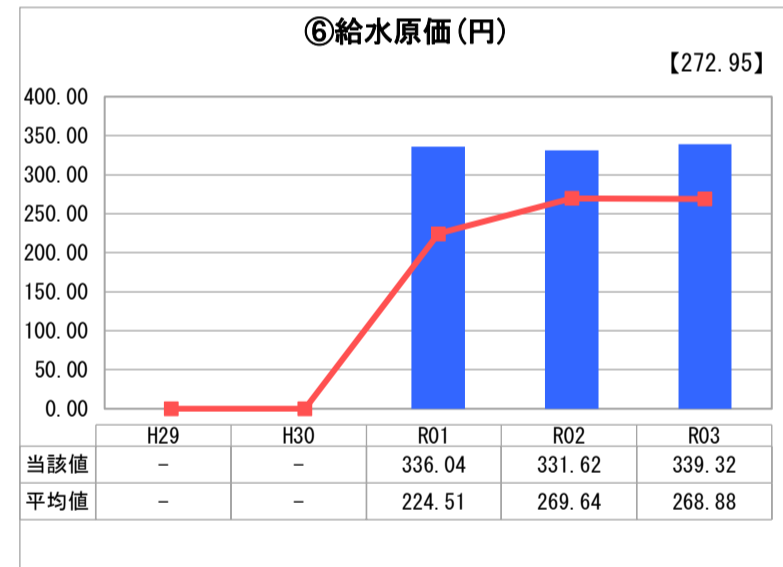
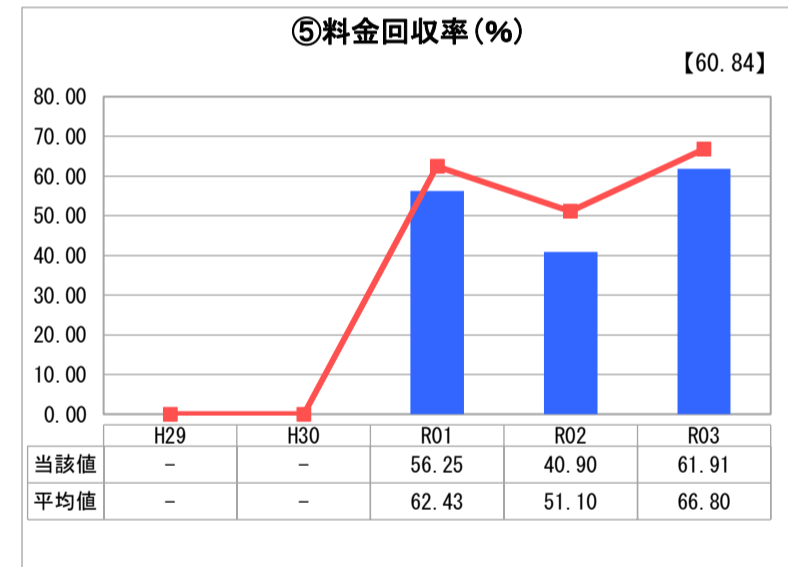
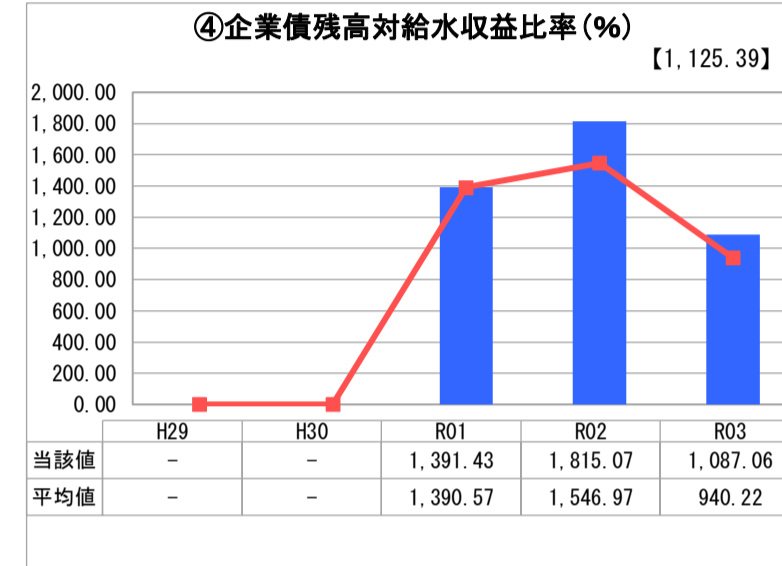
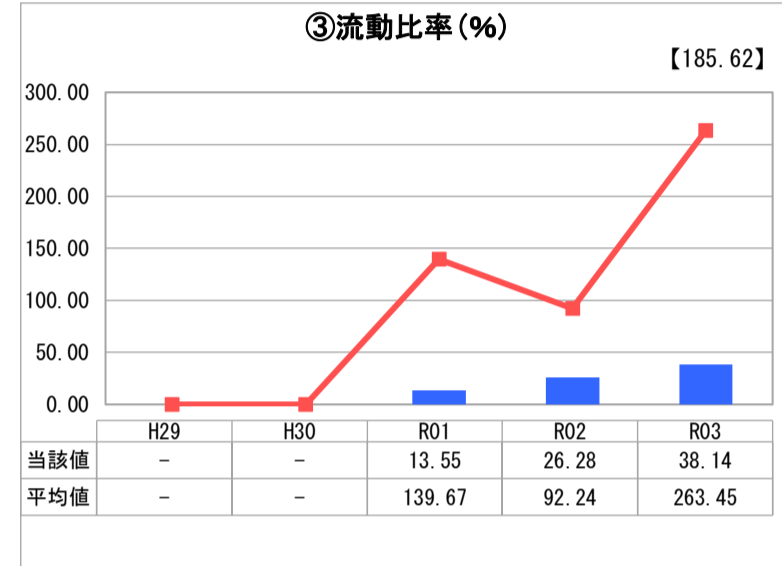
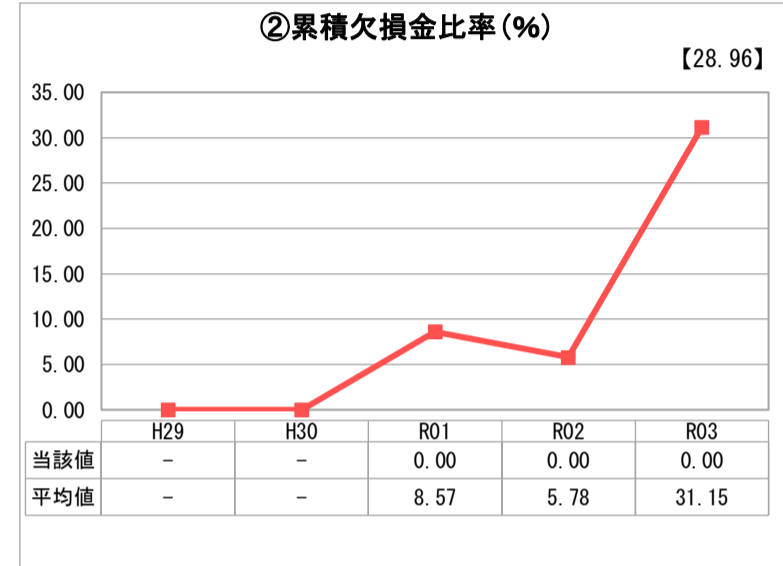
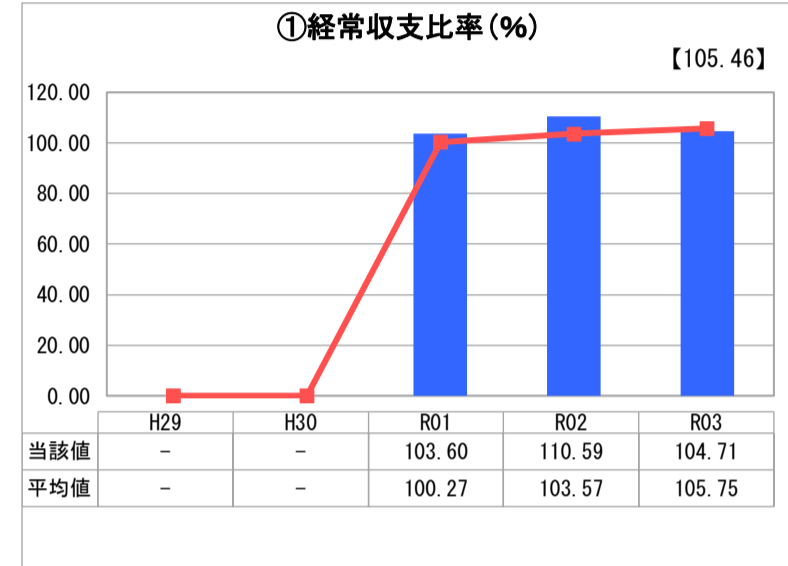
新潟県 妙高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	59.81	15.86	3,630	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,828	445.63	69.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,857	50.80	95.61

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

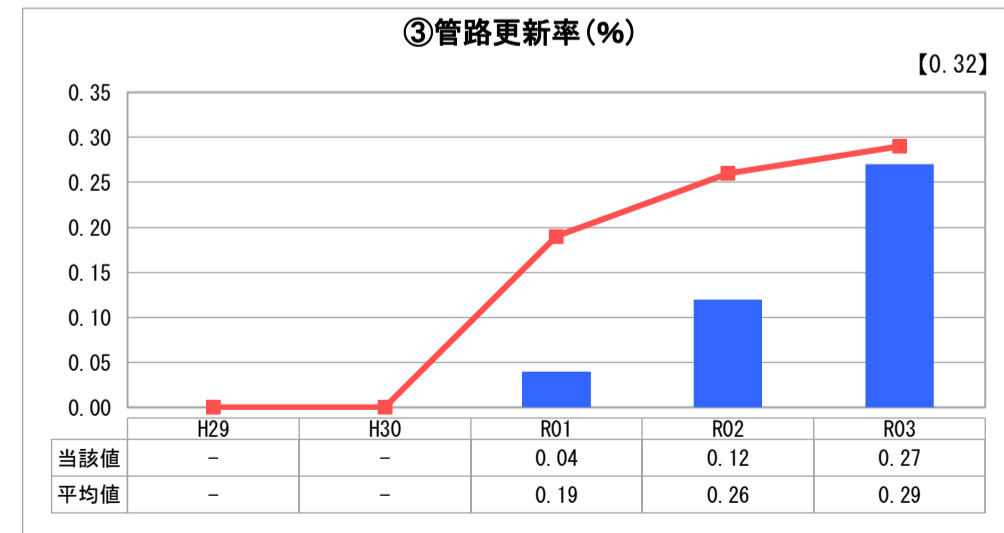
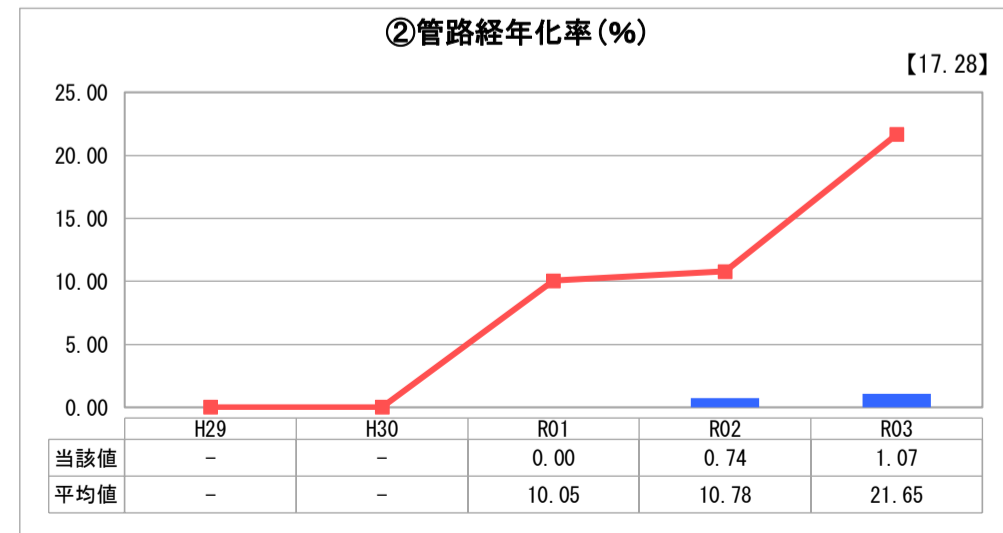
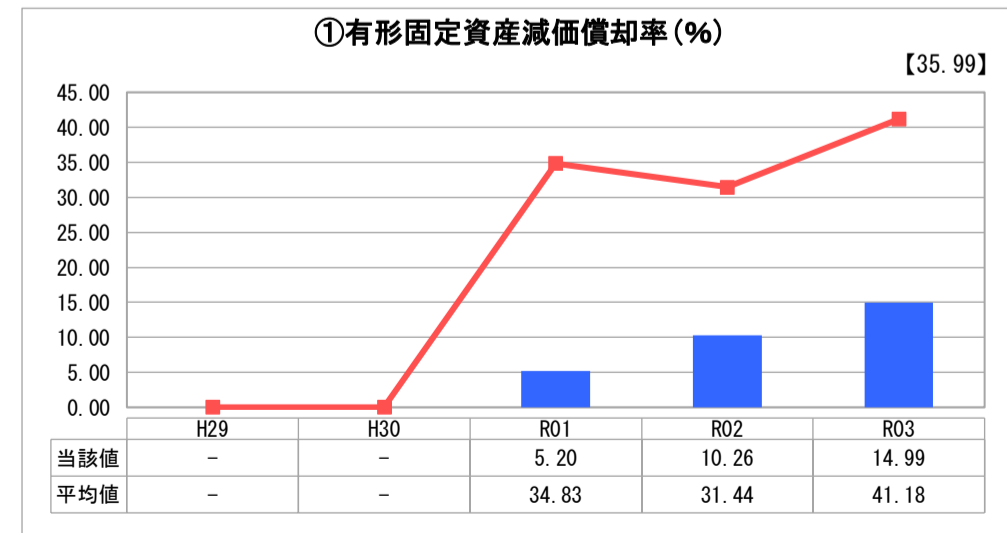
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を超え黒字経営となっている。
- ② 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動負債の大半は企業債償還分であり、繰出基準に基づき、一般会計から繰り入れることでキャッシュが回っている。
- ④ 企業債残高は減少傾向にあり、当該指標は改善していく見込み。
- ⑤ 100%を下回り、類似団体よりも低く、給水費用を一般会計からの繰出により補填している状況である。
- ⑥ 有収水量に対し修繕費や委託費などの維持管理経費が多額なため、類似団体と比較し高水準であり、維持管理の効率化が必要である。
- ⑦ 類似団体よりも高く、施設の統廃合や施設規模の適正化を図る必要がある。
- ⑧ 類似団体と比較し高水準にあり、漏水修繕などの維持管理は適正に行われている。

2. 老朽化の状況について

令和元年度より法適へ移行したため、減価償却率や管路経年化率が可視化された。
簡易水道事業の財政基盤は脆弱であるため、各種指標を見ながら、急激な更新による経営の悪化を招くことがないように、計画的に老朽化対策を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

施設の老朽化や人口減少により将来にわたり経営状況は厳しい状況が続く見込みである。
今後予定している基幹施設の更新では、技術革新による浄水処理方式及び給水方式の見直し、計画給水人口の減少による浄水場の統廃合、ダウンサイジングなどを含めた抜本的な更新計画とするとともに、各種補助金を活用し整備を行う。